

## 平成 30 年度の在宅医療関連施策の取組実績と平成 31 年度事業について

## 1 広域型在宅医療連携拠点運営支援事業

| 平成 31 年度当初予算 | 平成 30 年度当初予算 | 増減        |
|--------------|--------------|-----------|
| 9,314 千円     | 18,628 千円    | △9,314 千円 |

## (1) 事業概要

広域による在宅医療提供体制整備を目的として、複数の市町村を事業実施区域とする在宅医療連携拠点を設置し、その連携・調整を担うコーディネーター等を配置した場合に、その運営費を補助するもの。

実施主体：市町村、NPO等

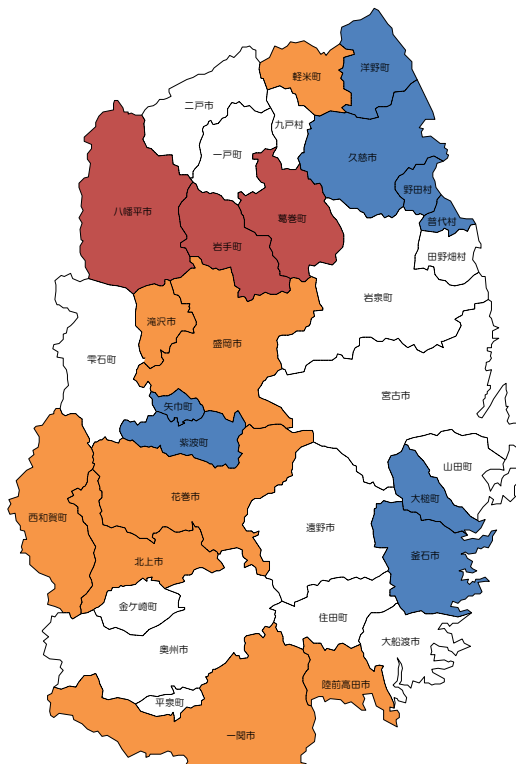
補助の概要：複数の市町村で構成する1事業区域あたり4,657千円

## (2) 平成 30 年度事業実績

- 平成 30 年度の活用実績はないものの、平成 31 年 4 月から盛岡北部地域の 3 市町（八幡平市、岩手町、葛巻町）が、本補助金を活用した広域の在宅医療連携拠点を設置することとして調整を実施。

## (3) 平成 31 年度の取組の方向性（見直しポイント）

- 盛岡北部 3 市町を事業区域とする在宅医療連携拠点に新たに補助を実施。
- その他地域においても、広域的な在宅医療・介護連携の取組支援のための呼び水として、引き続き本事業による働きかけを実施。



平成 30 年度 11 箇所 16 市町村  
↓  
平成 31 年度 12 箇所 19 市町村

| No. | 名称                  | 事業区域                | 運営主体               | 開始年度 |
|-----|---------------------|---------------------|--------------------|------|
| 1   | 在宅医療連携拠点<br>チームもりおか | 盛岡市                 | 盛岡市医師会             | H23  |
| 2   | 在宅医療連携拠点<br>チームかまいし | 釜石市、大槌町             | 釜石市                | H24  |
| 3   | 陸前高田市在宅医療介護連携センター   | 陸前高田市               | 陸前高田市              | H26  |
| 4   | 在宅ボックス滝沢            | 滝沢市                 | (医)ゆとりが丘クリニック      | H26  |
| 5   | 一関市医療と介護の連携連絡会      | 一関市                 | 一関市                | H25  |
| 6   | 北上市在宅医療介護連携支援センター   | 北上市                 | (社福)恩賜財団<br>岩手県済生会 | H27  |
| 7   | 西和賀町在宅医療介護連携推進協議会   | 西和賀町                | 西和賀町               | H27  |
| 8   | 軽米町健康福祉課            | 軽米町                 | 軽米町                | H27  |
| 9   | 北三陸塾                | 久慈市、洋野町、<br>野田村、普代村 | NPO法人北三陸塾          | H27  |
| 10  | 紫波郡地域包括ケア支援センター     | 紫波町、矢巾町             | (一社)紫波郡医師会         | H28  |
| 11  | はなまき在宅医療介護連携拠点      | 花巻市                 | 花巻市                | H30  |
| 12  | 盛岡北部行政事務組合<br>(仮称)  | 八幡平市、岩手町、<br>葛巻町    | 盛岡北部行政事務組合         | H31  |

## 2 新人等訪問看護師育成プログラム作成事業

| 平成 31 年度当初予算 | 平成 30 年度当初予算 | 増減       |
|--------------|--------------|----------|
| 5,713 千円     | 1,345 千円     | 4,368 千円 |

### (1) 事業概要

新人等の訪問看護師を雇用し、体系的に育成するためのプログラムの作成等を行い、訪問看護師の確保対策の前段階として、訪問看護ステーションの人材育成の環境整備を進めようとするもの。(看護協会への委託事業)

### (2) 平成 30 年度事業実績

- 岩手医大、県看護協会、県訪問看護ステーション協議会、県の4者の連携により、県内の訪問看護ステーションの実態調査を実施。
- 滋賀県において、新人訪問看護師の取組みに関する先進事例視察を実施。
- 平成 30 年 6 月に検討委員会及びワーキンググループを立ち上げ、プログラムの作成を実施。(検討委員会 3 回、ワーキンググループ 8 回)。構成員は下記のとおり。

| 検討委員会                             | 委員名           | ワーキンググループ                           | 委員名            |
|-----------------------------------|---------------|-------------------------------------|----------------|
| 岩手県立大学看護学部<br>地域看護学 教授            | 工藤 朋子<br>※委員長 | 岩手県立大学看護学部<br>地域看護学 助教              | 高岩 奈津美         |
| 岩手医科大学看護学部地域包<br>括ケア講座地域看護学 教授    | 野村 陽子         | 岩手医科大学看護学部地域包<br>括ケア講座地域看護学 助手      | 館向 真紀          |
| 看護学校教員協議会<br>(県立二戸高等看護学院<br>副学院長) | 岡田 千枝         | 看護学校教員協議会<br>(花巻高等看護専門学校)           | 佐藤 佳子          |
| 岩手県訪問看護 S T 協議会<br>会長             | 関 りゅう子        | 岩手県訪問看護 S T 協議会<br>(訪問看護 S T メディケア) | ガルシア小織<br>※部会長 |
| 岩手県看護協会 会長                        | 及川 吏智子        | 岩手県訪問看護 S T 協議会<br>(訪問看護 S T ありがとう) | 高橋 栄子          |
| 岩手県医療局 看護指導監                      | 高橋 弥栄子        | 岩手県看護協会立<br>訪問看護ステーション              | 三浦 和枝          |
| 岩手県医療政策室<br>医療政策担当課長              | 佐藤 直樹         |                                     |                |

### (3) 平成 31 年度の取組の方向性 (見直しポイント)

- 平成 30 年度に作成したプログラムの試行によるモデル的な新人訪問看護師の人材育成の実施及びプログラムの見直し等の実施。
- 検討委員会を引き続き開催し、訪問看護ステーション管理者が人材育成を行う場合に留意すべき事項等の整理や、モデル的な人材育成の結果を通じたプログラムの評価・見直し等の実施。
- プログラムの周知等のための地域説明会の実施

### 3 在宅医療介護連携圏域会議事業（1,431千円）

| 平成31年度当初予算 | 平成30年度当初予算 | 増減   |
|------------|------------|------|
| 2,154千円    | 2,132千円    | 22千円 |

#### (1) 事業概要

各保健所で、医療と介護の連携体制に関与していくことを目的とし、各地域における在宅医療に関する取組を実施するもの（委託の他、直営実施も可能）。

#### (2) 平成30年度事業実績

|       | 取組内容                                      |
|-------|---|
| 県央保健所 | 医療介護連携研修会                                 |
| 中部保健所 | こころづもりノートの紹介<br>遠隔医療に関する講演会               |
| 釜石保健所 | OKはまゆりネットの普及啓発と多職種連携研修会                   |
| 宮古保健所 | 地域包括支援センター連絡会議の実施<br>在宅医療介護連携研修（県と保健所で共催） |
| 二戸保健所 | 在宅療養に関する市民講演会                             |

#### (3) 平成31年度取組の方向性（見直しポイント）

- 保健所の管内市町村の広域支援のため、引き続き事業を実施。

#### 4 在宅医療体制支援事業

| 平成 31 年度当初予算 | 平成 30 年度当初予算 | 増減        |
|--------------|--------------|-----------|
| 13,189 千円    | 16,866 千円    | △3,677 千円 |

##### (1) 事業概要

県医師会の在宅医療支援センターの運営や、在宅医療に従事する医師の負担軽減に向けた取組等の実施に要する経費等を補助するもの。

##### (2) 平成 30 年度事業実績（見込）

- 郡市医師会が実施する在宅医療人材育成研修等の企画支援を実施。
- 全県を対象とする県委託研修（市町村職員等在宅医療介護連携研修、小児在宅医療研修、ACP 講演会）の受託実施。
- ACP の県内の医療機関等への普及に向けた「人生の最終段階をかかりつけ医とともに考える委員会」の設置運営。
- 胆江圏域における「在宅医療に取り組む医師への支援」モデル事業の実施調整

##### (3) 平成 31 年度取組の方向性（見直しポイント）

- 支援病院等のヒアリング結果を基に、モデル事業のスキームを見直し、更なる連携体制の構築を目指す。

###### 【見直し後のモデル事業の概要】

在宅医療を実施する医療機関と、病院等が予めグループ（グループ内で医師 3 名以上、患者情報共有体制の整備）を構築すること。

在宅医療を実施する医療機関の医師が学会や急病等に対応が困難な場合に、グループ内の別の連携医療機関が、必要に応じて、急変時の緊急往診や入院受入れを行う体制を取った場合に、必要な経費を補助するもの。

補助基準額：支援体制 1 日当たり 30,000 円

（県 1/3・県医師会 1/3・支援を受ける医療機関 1/3）

## 5 在宅医療人材育成研修（医療・介護従事者向け）

|                | 平成 31 年度当初予算 | 平成 30 年度当初予算 | 増減      |
|----------------|--------------|--------------|---------|
| 医療従事者向け        | 7,580 千円     | 7,149 千円     | 431 千円  |
| 介護福祉関係者向け      | 1,585 千円     | 1,555 千円     | 30 千円   |
| 専門研修（小児在宅・ACP） | 317 千円       | 622 千円       | △305 千円 |

### (1) 事業概要

医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、介護支援専門員等の在宅医療を担う各職種について、地域や各職種の実情に合わせた研修を実施するもの。

### (2) 平成 30 年度事業実績

- 7 郡市医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県訪問看護ステーション協議会、県介護支援専門員協会に委託を行い、各地域の実情等に応じた研修会を実施。

|                  |             | 主 な 内 容  |
|------------------|-------------|--|
| 医師<br>向け         | 岩手西北<br>医師会 | ・在宅医療における多職種連携や地域包括ケアシステム、緩和ケアについての講演会                                   |
|                  | 紫波郡医師会      | ・在宅療養高齢者医療介護連携支援実践研修<br>・多職種連携実践セミナー                                     |
|                  | 北上医師会       | ・在宅医療介護連携についての講演会<br>・エンド・オブ・ライフケアについての多職種連携研修                           |
|                  | 一関市医師会      | ・多職種連携のロールプレイ研修  |
|                  | 気仙医師会       | ・在宅医療の知識習得に向けた多職種研修  |
|                  | 久慈医師会       | ・在宅医療提供体制の構築に向けた多職種連携研修  |
|                  | 二戸医師会       | ・在宅医療の現状や多職種連携についての研修  |
| 岩手県医師会           |             | ・小児在宅の推進に向けた先進事例紹介等の講演会<br>・アドバンス・ケア・プランニングの普及啓発に向けた講演会                  |
| 岩手県歯科医師会         |             | ・県内 2 ヶ所（釜石市、宮古市）で歯科医師、歯科衛生士等を対象とした、在宅歯科医療に関する概念や知識の習得についての研修            |
| 岩手県薬剤師会          |             | ・薬剤師を対象に、フィジカルアセスメントを活用した在宅医療対応研修及びフォローアップ研修                             |
| 岩手県訪問看護ステーション協議会 |             | ・訪問看護師、退院支援看護師等を対象とした退院調整支援に関する研修<br>・訪問看護ステーションの管理者向け交流研修<br>・地域ブロック別研修 |
| 岩手県介護支援専門員協会     |             | ・在宅医療における多職種連携に関する研修を県内 3 ヶ所（北上市、陸前高田市、一戸町）で開催。                          |

### (3) 平成 31 年度の取組の方向性（見直しポイント）

- 各地域の実情に応じた在宅医療の理解促進・技術向上・多職種連携のための研修の実施を引き続き支援する。
- 新たにオーラルフレイルに対する対応力向上のための歯科医師向け、歯科衛生士向け研修の実施を支援する。

## 6 市町村職員等在宅医療・介護連携研修

| 平成 31 年度当初予算 | 平成 30 年度当初予算 | 増減      |
|--------------|--------------|---------|
| 951 千円       | 1,244 千円     | △293 千円 |

### (1) 事業概要

市町村の在宅医療・介護連携推進事業の深化のため、事業担当職員等を対象とした、在宅医療の知識習得及び先進事例等の紹介等、資質向上のための取組を行うもの。

### (2) 平成 30 年度事業実績

#### ① 基礎研修

在宅医療・介護連携に携わることとなった初任者等を対象に、各地域で実践している専門職に講師を依頼し、在宅医療に関する基本的な知識の習得や地域の実践者との交流の促進等を図ろうとするもの。アンケートでは、在宅療養者に関する救急医療の対策や、在宅看取りに関する内容について、市町村職員の関心が高いことが伺えた。

| 会場          | 宮古市                             | 久慈市                                   | 一関市                                  |
|-------------|---------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 日時          | 10月17日(水)<br>14:00~17:00        | 10月23日(火)<br>14:00~17:00              | 10月24日(水)<br>14:00~17:00             |
| 会場          | 陸中ビル3階<br>大ホール                  | 久慈合同庁舎1階<br>健康増進室                     | 一関保健センター<br>1階会議室                    |
| 医師          | 豊島 秀浩 氏<br>(豊島医院)               | 中村 晴彦 氏<br>(洋野町国保大野診療所)               | 谷藤 正人 氏<br>(谷藤内科医院)                  |
| 歯科医師        | 昆 亜紀夫 氏<br>(宮古歯科医師会)            | 小林 直人 氏<br>(久慈歯科医師会)                  | 久保田 文吾 氏<br>(一関歯科医師会)                |
| 薬剤師         | 湊谷 寿邦 氏<br>(宮古薬剤師会)             | 下畑 直美 氏<br>(久慈薬剤師会)                   | 梅森 康裕 氏<br>(一関薬剤師会)                  |
| 退院支援<br>担当者 | 湯澤 克 氏<br>(県立宮古病院)              | 朽木 美由紀 氏<br>(県立久慈病院)                  | 鈴木 礼子 氏<br>(県立磐井病院)                  |
| 訪問<br>看護師   | 斉藤 裕基 氏<br>(あゆみ訪問看護<br>ステーション)  | 大沢 サトミ 氏<br>(リハビリタウンくじ<br>訪問看護ステーション) | 鈴木 美和子 氏<br>(県看護協会立東山<br>訪問看護ステーション) |
| 救急<br>救命士   | 盛合 和也 氏<br>(宮古地区広域<br>行政組合消防本部) | 瀧澤 一史 氏<br>(久慈広域連合消防本部)               | 千葉 一弘 氏<br>(一関市消防本部)                 |
| 参加者         | 92名                             | 56名                                   | 27名                                  |

#### ② 実務者研修(平成 30 年度新規事業)

在宅医療・介護連携推進事業の取組深化に向けて、厚生労働省職員による基調講演や、県内の先進事例紹介を行ったもの。基調講演及び事例紹介について、いずれも好評であった。

|      |  |
|------|--|
| 日時   | 平成 31 年 1 月 30 日 (水) 13:00~16:00                                     |
| 会場   | 岩手県医師会館(盛岡市菜園2丁目8-20)  |
| 研修内容 | 1 基調講演<br>「地域包括ケアシステムと在宅医療・介護連携の推進について」<br>厚生労働省老健局 総務課 課長補佐 石井 義恭 氏 |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p><b>2 行政説明</b><br/>「在宅医療・介護連携の推進に係る県の考え方と取組みについて」<br/>岩手県保健福祉部長寿社会課 高齢福祉担当課長 大釜範之</p> <p><b>3 事例紹介</b></p> <p>① 釜石市保健福祉部高齢介護福祉課<br/>在宅医療・介護連携係長 小田島 史恵 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入院患者の介護認定申請に関する病院と行政（介護保険担当職員）の認識の違いから生じる課題とその解決に向けた取組について</li> <li>・ 在宅医療・介護連携に係る相談支援の状況について</li> </ul> <p>② 社会福祉法人恩賜財団済生会北上済生会病院 菊池 涼子 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の基幹病院が在宅医療連携拠点を設置した経緯について</li> <li>・ 在宅医療・介護連携に係る相談支援の状況について</li> </ul> <p>③ 住田町保健福祉課 課長補佐 千葉 英彦 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪問看護ステーションの設置に向けた取組について</li> </ul> <p>④ 医療法人葵会 チームもりおか 所長 板垣氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護施設等の療養者の救急搬送時の課題と解決に向けた取組（緊急時連絡票の修正）について</li> </ul> |
| 参加者 | 55名  |

(3) 平成 31 年度の取組の方向性（見直しポイント）

- 平成 30 年度に引き続き、対象とする階層に基づいた基礎研修、実務者研修をそれぞれ実施する。
- 特に、実務者研修については、市町村職員から、他県・他圏域の事例紹介等の要望が多かったことから、他県の事例紹介や、全国的な活動を行っている団体等を講師とした実践的な研修を企画するなど取組を強化する。

## 7 在宅医療人材育成研修（地域住民向け普及啓発）

| 平成 31 年度当初予算 | 平成 30 年度当初予算 | 増減       |
|--------------|--------------|----------|
| 1,585 千円     | 311 千円       | 1,274 千円 |

### (1) 事業概要

在宅医療等に関する人生の最終段階における意思決定支援等について地域住民を対象とした市民公開講座を開催するもの。

### (2) 平成 30 年度事業実績

- 人生の最終段階について考える市民公開講座を県内 3 か所（盛岡、県南、沿岸）で開催。（参加者計 155 名）

### (3) 平成 31 年度の取組の方向性（見直しポイント）

- 在宅療養に関する県民への理解促進のため予算を拡充（ただし、アドバンス・ケア・プランニングの普及啓発については、別事業で実施するもの）。
- オーラルフレイルの普及啓発等も合わせて実施するもの。

## 8 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）普及啓発事業【新規】

| 平成 31 年度当初予算 | 平成 30 年度当初予算 | 増減       |
|--------------|--------------|----------|
| 3,534 千円     | 0 千円         | 3,534 千円 |

### (1) 事業概要

人生の最終段階の医療・ケアを、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話しあうプロセスである ACP について、医療・介護従事者や県民等への効果的な普及を図ろうとするもの。

- アドバンス・ケア・プランニングを効果的に普及させるための方策等を検討するため、医療・介護関係団体や患者団体等を構成員とする会議の設置
- 県民に身近な医療機関・介護施設等で相談できる体制を整備するため、医療・介護従事者を対象とした相談員研修会の開催
- 県民の理解を促進するためのリーフレットの作成や、市民公開講座の開催



## 在宅医療・介護連携推進事業に係る取組について【長寿社会課】

### 1 医療介護連携調整事業

| 平成 31 年度当初予算 | 平成 30 年度当初予算 | 増減    |
|--------------|--------------|-------|
| 343 千円       | 274 千円       | 54 千円 |

#### (1) 事業概要

介護サービスの提供を必要とする高齢者について、入退院時における病院とケアマネジャーの調整ルールを策定し、医療と介護の切れ目のないサービス提供体制を構築する。(国のモデル事業で策定した宮古・盛岡圏域のフォローアップ及び広域的な取組みにおける助言・支援)

#### (2) 平成 30 年度事業実績（見込）

- 宮古保健所主催の「宮古圏域医療介護連携調整会議」にアドバイザーを派遣するとともに当課より他圏域の取組状況等について情報提供した。(平成 30 年 9 月 3 日)
- 二戸圏域で取り組まれている入退院調整スキームの更新を支援するため、圏域の医療・介護関係者で組織するカシオペア地域医療福祉連携研究会に参加し、情報提供及び助言を行った。(平成 30 年 9 月 27 日)
- 盛岡北部行政組合（構成市町：八幡平市、岩手町、葛巻町）において、広域型在宅医療連携拠点設置の準備を進めており、郡市医師会との調整及び会議等へ参加し助言を行っているところ。

#### (3) 平成 31 年度の取組の方向性（見直しポイント）

- 在宅医療・介護連携推進事業及び入退院調整の取組状況について地域の実情を把握している保健所と相互に情報共有する。
- 宮古・盛岡圏域で実施した入退院調整支援のモデル事業を活用し、他圏域において広域的な情報共有及びルールづくりの機会を設け、広域での連携推進を図る。

### 2 「在宅医療・介護連携推進事業の手引き 岩手県版補足資料」の改訂・周知

#### (1) 事業概要

- ・厚生労働省から示された「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」を活用する上での参考となるよう、県版補足資料を作成。
- ・国の動向及び県内外の優良事例について適宜更新し、在宅医療介護の関係者及び行政職員の取組の参考となるよう周知を図る。

#### (2) 平成 30 年度事業実績（見込）

平成 29 年 10 月に国から在宅医療・介護連携推進事業の手引き ver. 2 が発出されたこと、また、診療報酬・介護報酬が改定され、その内容を反映させた改訂の必要があることから、岩手県版補足資料の第 2 版（改訂版）を作成し、平成 30 年 10 月 18 日に開催した平成 30 年度第 1 回在宅医療推進協議会において承認を得た。

平成 31 年 1 月 30 日に開催した平成 30 年度市町村職員等在宅医療・介護連携実務者研修にお

いて、市町村、在宅医療連携拠点職員及び保健所職員等に対して当該資料の改正点などを解説し、活用の促進を図った。

**(3)平成 31 年度の取組の方向性（見直しポイント）**

- ・国の示す「手引き」に対する「補足資料」の位置づけであることを踏まえ、県内外の優良取組事例、有効な指標設定の事例等の補足を検討していく。
- ・本資料の活用状況等について、継続的な調査の実施。